

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 有限会社アンビック

1 事業の趣旨・目的

初級レベルの日本語文法、語彙、基本構文を学習しながら、日本語 4 技能のうち特に話す、聞く、読むを主眼とし、職場、家庭、学校、地域などで今すぐ必要な日本語コミュニケーションの習得を目指し、日本事情と日本人の社会生活、日常生活などの異文化の理解を促し、日本語能力試験 4 級を目指す。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
21.6.5	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	募集方法、役割、テキスト、副教材、カリキュラムの検討	役割分担、テキスト、副教材、1日の進捗、チェックテストの内容決定
21.9.18	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	カリキュラム補足検討と使用副教材打ち合わせ	終盤に向けて面接、履歴書の書き方などのプログラム追加
21.10.30	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	実施の成果検討	チェックテストによる成果検討と今後について

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 南米語で日本語を学ぶ 入門編
- ② 開催場所 御殿場 国際アセンブリキリスト教会
- ③ 学習目標 地域内での日本語リーダー育成と就職を見据えた日本語、日本文化の習得
- ④ 使用した教材・リソース みんなの日本語 1、スーパーキッズ、問題集
- ⑤ 受講者の募集方法

人材派遣会社訪問しチラシ配布および募集依頼、ブラジル人教会 2 箇所の神父に
チラシ配布募集依頼

- ⑥ 受講者の総数 5 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

⑥ 日本語教室の具体的内容 入門クラス

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	7月4日	2時間	7人	ペルー人5人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	あいさつ、自己紹介 ひらがな
②	7月5日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	～は～です、～は～で すか、ひらがな
③	7月12日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	数、電話番号、ひらが な
④	7月13日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	なんですか、名詞、ひ らがな
⑤	7月19日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	なんさいですか、数字 カタカナ
⑥	7月20日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	これ、それ、あれは～ です、カタカナ
⑦	7月25日	2時間	4人	ペルー人3人 ブラジル人1人	教授者1人 補助者1人	～の～です、カタカナ
⑧	7月26日	2時間	3人	ペルー人2人 ブラジル人1人	教授者1人 補助者1人	文型復習
⑨	8月1日	2時間	4人	ペルー人3人 ブラジル人1人	教授者1人 補助者1人	時刻、ます、ません、 ました
⑩	8月2日	2時間	3人	ペルー人2人 ブラジル人1人	教授者1人 補助者1人	物の名前、疑問文
⑪	8月8日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	どこ、数字、買い物、 これ
⑫	8月9日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	時刻、ます、ません、 ました
⑬	8月29日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	こそあど
⑭	8月30日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	文法チェック
⑮	9月5日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	動詞、否定、過去否定
⑯	9月6日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	時刻、ます、ません、 ました
⑰	9月12日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	日付、誕生日、へ/で/ と/に
⑱	9月13日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	～を～ます、で～ます に～ます
⑲	9月19日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	～ます、～ません、～ ました、～ませんか
⑳	9月20日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	復習、テスト
21	9月26日	2時間	4人	ペルー人2人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	～で～ます、～を

22	9月27日	2時間	4人	ペルー人2人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	い形容詞、な形容詞
23	10月3日	2時間	4人	ペルー人3人 ブラジル人1人	教授者1人 補助者1人	副詞の整理
24	10月4日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	位置詞
25	10月10日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	助数詞
26	10月11日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	形容詞の整理
27	10月17日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	助詞の整理
28	10月18日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	て形、作文、スピーチ、 履歴書
29	10月24日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	て形、ない形、スピーチ、 履歴書
30	10月25日	2時間	5人	ペルー人3人 ブラジル人2人	教授者1人 補助者1人	復習、作文、スピーチ、 履歴書

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 有限会社アンビック

1 事業の趣旨・目的

初級レベルの日本語文法、語彙、基本構文を学習しながら、日本語 4 技能のうち特に話す、聞く、読むを主眼とし、職場、家庭、学校、地域などで今すぐ必要な日本語コミュニケーションの習得を目指し、日本事情と日本人の社会生活、日常生活などの異文化の理解を促し、日本語能力試験 4 級を目指す。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
21.6.5	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	募集方法、役割、テキスト、副教材、カリキュラムの検討	役割分担、テキスト、副教材、1 日の進捗、チェックテストの内容決定
21.9.18	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	カリキュラム補足検討と使用副教材打ち合わせ	終盤に向けて面接、履歴書の書き方などのプログラム追加
21.10.30	山本幸恵、植原百合子、浜中和美、原ケイラ、清水吉晴、川口誠	実施の成果検討	チェックテストによる成果検討と今後について

3 日本語教室の開催について

- ①日本語教室の名称 南米語で日本語を学ぶ 初級編
- ② 開催場所 御殿場、国際アセンブリ教会
- ③ 学習目標 地域内での日本語リーダー育成と就職を見据えた日本語、日本文化の習得
- ④ 使用した教材・リソース みんなの日本語初級 1、標準問題集、スーパーキッズ等
- ⑤ 受講者の募集方法

人材派遣会社訪問チラシ配布および募集依頼、ブラジル人教会 2 箇所の神父にチラシ配布募集依頼

⑦ 受講者の総数 6 人 (延べ人数ではなく, 受講した人数を記載すること。)

⑧ 開催時間数(回数) 60 時間 (全 30 回)

⑨ 日本語教室の具体的内容 初級クラス

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	7月4日	2時間	7人	ペルー人2人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	職業、自己紹介
②	7月5日	2時間	7人	ペルー人2人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	物の名前、疑問文
③	7月12日	2時間	7人	ペルー人2人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	どこ、数字、買い物、これ
④	7月13日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	時刻、ます、ません、ました
⑤	7月19日	2時間	7人	ペルー人2人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	こそあど
⑥	7月20日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	文法チェック
⑦	7月25日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	動詞、否定、過去否定
⑧	7月26日	2時間	5人	ペルー人1人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	時刻、ます、ません、ました
⑨	8月1日	2時間	5人	ペルー人1人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	日付、誕生日、へ/で/と/に
⑩	8月2日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	～を～ます、で～ますに～ます
⑪	8月8日	2時間	6人	ペルー人1人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	～ます、～ません、～ました、～ませんか
⑫	8月9日	2時間	6人	ペルー人1人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	復習、テスト
⑬	8月29日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	～で～ます、～を
⑭	8月30日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	い形容詞、な形容詞
⑮	9月5日	2時間	5人	ペルー人2人 ブラジル人3人	教授者1人 補助者1人	副詞の整理
⑯	9月6日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	位置詞
⑰	9月12日	2時間	6人	ペルー人1人 ブラジル人5人	教授者1人 補助者1人	助数詞
⑱	9月13日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	形容詞の整理
⑲	9月19日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	助詞の整理
⑳	9月20日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	て形の作り方
21	9月26日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	ない形容詞、て形の整理

22	9月27日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	ない形、辞書形、て形 た形
23	10月3日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	て形、た形整理
24	10月4日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	～ない、～ます 辞書形、て形、た形
25	10月10日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	い形容詞、な形容詞
26	10月11日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	問題と復習
27	10月17日	2時間	5人	ペルー人2人 ブラジル人3人	教授者1人 補助者1人	問題と復習
28	10月18日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	復習、作文、スピーチ、 履歴書
29	10月24日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	復習、作文、スピーチ、 履歴書
30	10月25日	2時間	6人	ペルー人2人 ブラジル人4人	教授者1人 補助者1人	復習、作文、スピーチ、 履歴書

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

先に「～ないでください」を言えるように指導してから禁止の用語を勉強した。読めない漢字はあるにしても記号としてとらえて意味を理解していないと危険をとまなうのできちんと入れたい。生徒が自ら工場やアパートで許可・禁止されている事項に敏感になれるように宿題も出した。生徒が発する言葉は「～ないでください」という丁寧語だが、聴くのは「～するな」という辞書形(普通形)から変換した動詞になる。ます形から辞書形には問題なく変換できていたので問題はないと思う。今後の授業にも時々禁止のマークや交通表示などをとりいれて、生徒自身に「危険」を回避することを心がけてもらいたい。

街の地図を使って「近くに〇〇はありますか」「△△の横にあります」など、場所の説明をする文型の練習をした。「旅行会社」「クリーニング屋」「文房具屋」「本屋」「市役所」などまだ知らない場所を表す単語もあって予定より時間がかかったが、皆楽しそうに覚えながらやっていた。助詞抜けを含め助詞に関する間違いが多かった。敬語に関しては文型は「係長さんはいらっしゃいますか」という言い方だが、実際に役職に「さん」をつけるのは正しい言い方ではないので「〇〇係長はいらっしゃいますか」にした。接客の「いらっしゃいませ」という掛け声を意識している様子の人もいたが違いは理解していたようだ。

終盤に行った面接時のシュミレーションでは、個々人毎に短い質問をし、どのくらい答えられるかをチェックし、同時にマナー、自己PRの学習をしました。その後全体でみんなの見守る中、実際の面接形式で行って見ましたが、言われていることは大体の人が理解し、答える努力をしました。履歴書の書き方では、最低住所と名前は書けるようになりました。一般的な履歴書を使用し、ボールペンで書く、学歴、職歴、志望の動機欄、写真を貼るなどの基本的な事柄などを説明しました。

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
原 ケイラ	スペイン語(ペルー)	15年	30回	授業補助、通訳、出欠管理、受講者との調整役
ジョゼ セグラ	ポルトガル語	11年	30回	授業補助、通訳、出欠管理、受講者との調整役

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
山本幸恵	沼津国際交流教会	日本語教育能力検定試験合格	24回	日本語指導者
植原百合子	ヒューマン日本語講師会	日本語教育能力検定試験合格	22回	日本語指導者
神保好信	ヒューマン日本語講師会	日本語教育能力検定試験合格	8回	日本語指導者
山口竜子	ヒューマン日本語講師会	日本語教師養成講座 420時間終了	6回	日本語指導者

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

当初の目標は みんなの日本語初級Ⅰ終了を予定していたが、途中で何回か筆記、口頭の定着度試験を実施したり、ゴミ分別、病院ロールプレイ、面接、履歴書の書き方等のアクティビティを入れたため 20課までの終了となった。

② 学習者の習得状況

Aクラス（担任 植原百合子、神保好信 原ケイラ）

まとめテスト（平均点）			
1回	2回	3回	総合
81/100	82/100	91/100	88/100
自分の身の回りのことに関しては容易にやり取りができるが、話し言葉が乱雑になりがちで、漢字に苦労している。			

Bクラス（担任 山本幸恵、山口竜子 ジョゼ セグラ）

まとめテスト（平均点）			
1回	2回	3回	総合
92/100	88/100	83/100	87/100
日本を理解し、日本に溶け込もうとしている人ばかりで、会話には多少不正確なところがあっても、すぐに修正でき十分対応できる。			

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

受講生とその周囲の関係にいい影響を及ぼすきっかけとなった。近隣に住んでいる同胞でも知らない、話したことがないなどありましたが、一緒に勉強し毎回会うようになり、色々なことが話せる仲間になっていったと思います。子供のこと、学校のこと、友達のことなども話していました。より就職に役立つことを目標に面接の受け方など終盤に取

り入れましたが、大体のことは理解でき、短い文章では返答できるようになっていました。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

他の日本語教室と連携し、面接、履歴書の書き方などの指導を行い、書くことは難しいものの、聞く、話すは短い文章ながら十分に理解できるものであった。

住んでいる市町村によりゴミの出し方のパンフレットがあるもののあまりよく理解していない人が多く、自治会の方に説明をお願いし、受講者の理解を得た。

⑤ 改善点、今後の課題について

A 現状 仕事の都合で現在の居住地に住むことが困難になり、引越しを余儀なくされた受講生もいて受講者が減ってしまったが、そこでの問題として帰国しても子供が母語ができないので、同じ年のクラスに入れない子供がほとんど。子供の新型インフルエンザで来れない人もいた。

未就学者、親の教育に対する不熱心さの認識がされた。

B 今後の課題 昨年に比べるとアルバイトの短期の仕事がやや増えてきていて、続けたいと希望する受講者がほとんどではあるが、日本語クラスは休みがち、全く来なくなってしまったなどあるが、受講者の確保・ニーズの変化に目をそらさずやっていきたい。また、子供、未就学の子供の受け入れ、日本語クラスの提供により、日本の文化、習慣を教え、親にも日本語を通して教育の大切さを伝えて生きたいと思います。また、工場見学などにより外国人の働く職場としての幅を広げるような紹介をしたい。また、仕事以外でもっと彼らの抱えている問題点を吸い上げ対応できるようにしたい。

C 今後の活動予定、展望 受講生の地域や職場・学校とかかわりを持って展開していきたい。それぞれの環境と密着した授業をすること。ひとりひとりが自分の生活に役立てるようにしたい。常識の違い（マナー）や日本文化も続けて教えていきたい。未就学者の把握により未就学の子供、来日したばかりの子供、帰国予定の子供に対する母語指導なども必要と思われます。職業訓練センターとの連携により、より広く広報活動ができることがわかり、提携してゆきたい。

③その他参考資料



面接用インタビュー練習

名前 ()

1. お名前は？
2. お国はどちらですか。→くには どこですか。
3. 今日何で（なんで／なにで）来ましたか。
4. いつ日本へ来ましたか。
5. 昨日、何をしましたか。
6. 日本へ来る前に、どんな仕事をしていましたか（何をしていましたか）。
7. 趣味はなんですか。
8. 日本での滞在年数、今後の予定
9. 日本ではどんな仕事をしていましたか
10. どんな仕事を希望していますか
11. 家族は何人で何をしていますか
12. 自己 PR

服装、面接室への入り方、着席

日本語教室講座アンケート

1. 総評

名前

① コース全般についての感想をお聞かせください。 A. 大変満足 10人 B. まあまあ 1人 C. 大変不満
② コースで改善すべきだと思う点があればお聞かせください。 A. 特になし 11名 B. レッスン内容
③ 現在のクラスの曜日時間帯はどうでしょうか。 A. 現状でよい 11名 B. 曜日を変えたい C. 時間帯を変えたい 名 希望の曜日、時間帯を教えてください。 (土、日)曜日 (13:00 時)からの時間帯

2. 研修形態

① 1回あたりのレッスン時間はどうか。 A. ちょうど良い 11人 B. 長い C. 短い
② 1週間あたりのレッスン頻度はどうか A. ちょうど良い 7人 B. 多い C. 少ない4人
③ 1クラスあたりの受講者の数はどうか。A. ちょうど良い 11人 B. 多い C. 少ない
④ 現在のクラスは終了しますが、引き続き次のコースを受講希望する、しないを○で囲んでください。 引き続き受講の希望 有り 11人 無し人

3. クラスについて

クラス状況	1. 講師と皆さんが発言するバランスはどうか	A 11人 B C
	2. 講師はあなたが発言できるように努力していますか。	A 11人 B C
	3. あなたは講師に満足していますか。	A 11人 B C

5. カリキュラム

1. 教材の難易度はどうか。 A. ちょうど良い 11人 B. 少し難しい 人 C. 少し易しい
2. レッスン内容はあなたのニーズにあっていますか。 A. 合っている 8人 B. 大体合っている 3人 C. 合っていない
3. あなたはクラスで十分に話していますか。 A. 十分に話している 11人 B. まあまあ話している 人 C. あまり話していない

6. その他、ご意見ご要望があればお書きください。

*子供クラスがあれば受けさせたい	*日本人ともっと交流する場がほしい
*次のクラスがあれば受けたい	*母語を理解してくれる人がいてよかった
*もう一度最初から受けたい	*次回は友達を誘いたい
*仕事に役立つことをもっと入れてほしい	*新しい友達ができた
*ひらがな、カタカナは完全に覚えたので勉強を続けていきたい	

*次回は友達を誘いたい

ご協力ありがとうございました。

ベルエアー外語学院

日本語初級レッスン受講者募集

募集コース

- ・ Aクラス 毎週土曜日、午後 13 時から 15 時の 2 時間、
計 30 回、60 時間
- ・ Bクラス 毎週土曜日、午後 13 時から 15 時の 2 時間、
計 30 回、60 時間

各クラスとも定員 15 名、毎回出席できる人

スタート予定日：2009 年 7 月 4 日、クラスのスケジュールを渡します。

レッスン場所： 御殿場市中山 731-5 国際アセンブリキリスト教会。

場所は参加人数により決定します。

レッスン料： 無料

担当講師：A クラス ブラジル人と日本人の 2 名

B クラス ペルー人と日本人の 2 名

申し込み先：申し込みは **Fax(055-951-6127)** 或いは belair@yr.tnc.ne.jp へお
願います。

名前、住所、電話番号、希望クラス名を記入のこと。

〒410-0801 沼津市大手町 3-5-5

ベルエアー外語学院 川口

Tel 055-951-6996 Fax 055-951-6127